

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（後藤）		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	課題演習で作成した研究計画に従って研究を進め、卒業論文を執筆します。教育実習の準備や採用試験対策用の模擬授業にも取り組みます。前期は教員採用試験の問題を事例として、教育問題の小論文やグループ討議に取り組み、教育者としての知識を深め、資質・能力を高めます。						
到達目標	主体的に計画性をもって研究を深め、実行できる力をつける。また、教職に関する小論文やグループディスカッションなどに積極的に取り組むことによって、子どもの成長・発達と学校教育との関係に対する思考を深め、教師・教育者としての資質を高める。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	報告と討議を状況に応じて行います。毎授業で課題を提出すること。 課題については、適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	課題演習Ⅰ・Ⅱを履修済みの者。						
アセスメントポリシー及び評価方法	研究の取り組み40%、論文の内容40%、平常点（グループディスカッション、レジュメ）20%。 平常点では関係を構築する力、研究の取り組みでは自律する力、論文の内容では識見と分析し、思考する力を総合的に評価します。						
教材	適宜指示します。						
参考図書	白井利明『よくわかる卒業論文の書き方』ミネルヴァ書房						
内容・スケジュール	卒業課題のはじめに作成する研究計画書に従い、前半ではテーマに沿って本論の中心となる調査研究を進め、後半で執筆活動に取り組みます。4年生の前半は、教育実習、採用試験の準備、就職活動など、受講生個によって不規則な状況になるため、自ら計画に基づいて実行していく力が求められます。卒業論文でアンケートや参与観察などの調査を実施する場合には、夏休みをめどに実施する必要があり、これまで構築してきた理論との関連性から調査内容を検討し、準備を進めます。夏休みまでは採用試験の対策を中心に置き、シャロン祭をめどに論文各章で不十分な資料の収集と論理的検討を進めます。調査を行った場合には、ここまで結果をまとめ、分析・考察を進めます。シャロン祭以降、卒業論文の執筆に取り掛かり、11月をめどに完成させます。						

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	後藤 さゆり(Goto Sayuri)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	In accordance with the research plan students wrote in "Junior Specialty Seminar I" and "Junior Specialty Seminar II", they will advance their research and write a graduation thesis. Students will also give mock lessons for employment examinations and prepare for actual teaching.?					